

令和4年度事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

概況

令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にあったが、厳しい状況は徐々に緩和されており、経済活動の正常化を背景に内需を中心に持ち直し傾向となった。

政府は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱とする「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に沿って、足元の経済の下支えと景気下振れリスクへの対応を図った。感染拡大に際しても国民の暮らし、雇用や事業を守り抜き、経済の底割れを防ぐとともに、「新しい資本主義」を起動し、「成長と分配の好循環」を実現して、経済を自律的な成長軌道に乗せるとの方針を示した。

このような状況下、当会は一般社団法人として10期目を迎え県下6単位会（公益社団法人）の支援を第一と捉え、全法連が制定した「法人会の理念」の下、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として社会全体への貢献をめざし、税を中心とした事業の一層の活性化を図るとともに適正効率的な組織運営に努めた。コロナ感染者が急増する等、昨年度同様の運営を余儀なくされた時期がありつつも、感染者減少期においては、事業を集中的に開催し、簡素化・縮小化していたものを徐々に通常形式で再開する等、組織運営上において明るい兆しが見え始めた1年でもあった。

また、少子化対策の一環として高知県より受託した「こうち出会いサポートセンター」においてはコロナ禍の中であったが会員数743名（前年対比42名減）、成婚数は通算で101組となり一定の数字を残すことができた。

事業並びに会議等の実施内容は以下のとおりである。

I. 税を巡る諸環境の整備改善等を図るための事業<継続1>

1. 税制提言活動事業

◇提言作成に向けたアンケート調査の実施

「今後の望ましい税制のあり方」をテーマとした税制改正に関するアンケート調査を、県下単位会の役員及び会員を対象に実施した。

◇令和5年度税制改正要望書のとりまとめ

全法連は、令和5年度税制改正提言を策定するに当たっては、「財政健全化や社会保障制度のあり方」など基本的課題への対応や活力ある日本経済を目指して、「経済活性化と中小企業対策」を中心に法人会としての考え方を取りまとめることとし、県連は、これに基づき単位会から提出された要望事項を分類、整理し、県連税制委員会において検討を行い、県連としての要望事項を取りまとめ全法連に提出した。

◇税制改正に関する提言活動の実施

全法連は全国の県連より提出された要望事項を取りまとめ令和4年9月22日の理事会で決議し、10月13日開催の「法人会全国大会（千葉大会）」において提言趣旨説明を行った。

全法連は政府・政党・関係行政省庁に行財政改革の徹底や税制の見直しを要望し、高知県連では地元選出の国会議員、高知県知事及び高知県議会議長に対して要望活動を行った。

《地方自治体に対する要望活動の実施状況》

要望活動先				要望活動実施者			実施日
対 象		面接者		所属会	役 職	氏 名	
自治体名	役職	役職	氏 名				
高知県	知事	知事	濱田 省司	県 連	会長 副会長 税制委員長 常務理事	角 裕和 山元 文明 山崎 一寛 公文 隆司	11月28日
	議長	議長	明神 健夫				11月14日
高知市	市長	市長	岡崎 誠也	高 知	会長 副会長 税制委員長 常務理事	角 裕和 山元 文明 山崎 一寛 公文 隆司	11月22日
	議長	議長	和田 勝美				11月22日
土佐市	市長	市長	板原 啓文	伊 野	会長 税制委員長	森澤 正博 田中 等	11月28日
	議長	議長	森田 邦明				
四万十市	市長	市長	中平 正宏	幡 多	会長 税制委員長	福田 充 坂井 義延	11月22日
	議長	副議長	山崎 司				
須崎市	市長	市長	楠瀬 耕作	須 崎	会長 税制委員長	竹内 健造 国澤 隆英	11月7日
	議長	議長	高橋 立一				
南国市	市長	市長	平山 耕三	南 国	会長	楠目 隆	12月28日
	議長	議長	浜田 和子				
安芸市	市長	市長	横山 幾夫	安 芸	会長 税制委員長 税制委員	石建 国元 坂本 泰資 山口 隆朗	11月30日
	議長	議長	徳久 研二				

◇全法連税制セミナーへの参加

令和5年2月14日に開催された税制セミナーに、税制委員長と事務局2名がリモートで参加した。

◇法人会全国大会への参加（提言内容の発表）

令和4年10月13日開催の「法人会全国大会（千葉大会）」に、県下6単位会から17名が参加した。

2. 租税教育事業

次世代を担う児童生徒に税の仕組み等を理解してもらうため、租税教育の充実に努め、また、これに資するための租税教育教材も全法連と連携して配布した。

◇租税教室の開催

《単位会取組状況》

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
学校数	37	7	20	11	11	17	103
授業数	91	10	26	15	17	18	177
児童生徒数	2,926	210	552	357	443	223	4,710

《開催校一覧》

	開催校
高知	朝倉小・朝倉第二小・旭東小・泉野小・一宮小・一宮東小・潮江小・潮江東小・浦戸小・江ノ口小・鴨田小・介良小・神田小・高知小・江陽小・五台山小・小高坂小・昭和小・第四小・第六小・高須小・十津小・長浜小・秦小・春野西小・春野東小・附属小・初月小・横内小・横浜新町小・青柳中・愛宕中・高知中・高知国際中・城東中・春野中・附属中
伊野	高岡第一小・高岡第二小・北原小・宇佐小・伊野南小・枝川小・日下小
幡多	竹島小・清水小・三浦小・佐賀小・具同小・中村南小・山奈小・下田小・伊与喜小・三原小・西土佐小・橋上小・大島小・平田小・上川口小・小筑紫中・片島中・中村西中・中村中・西土佐中
須崎	多ノ郷小、東又小、窪川小、新荘小、須崎小、久礼小、葉山小、斗賀野小、佐川小、越知小、梶原高
南国	大篠小・長岡小・後免野田小・日章小・野市小・佐古小・吉川小・赤岡小・山田小・舟入小・本山小
安芸	甲浦小・野根小・佐喜浜小・吉良川小・羽根小・奈半利小・北川小・田野小・安田小・馬路小・下山小・土居小・川北小・安芸第一小・井ノ口小・赤野小・芸西小

◇「税に関する絵はがきコンクール」

《単位会取組状況》

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
応募校	17校	7校	20校	14校	8校	12校	78校
応募数	894枚	210枚	263枚	111枚	271枚	174枚	1,923枚

・令和4年11月10日に絵はがきコンクール選考会を開催した。

高知県代表作品は、高知法人会選出作品となり、四法連会長賞を受賞した。

各単位会代表作品は、「全国女性フォーラム愛媛大会（令和5年4月13日）」へ展示する。

◇全国女性フォーラム

全国女性フォーラム静岡大会（令和4年4月14日）へ県下女性部会から14名が参加し、大会では令和3年度作品の県下各単位会代表作品が展示された。

◇全国青年の集い

全国青年の集い沖縄大会（令和4年11月24・25日）へ県下青年部会から36名が参加し、

大会では全国 11 局連代表の「租税教育活動プレゼンテーション」が行われ、厳正な審査の上、最優秀賞等を選定した。また、国の社会保障制度や財政が抱える問題を解決するため青年部会が取り組んでいる健康経営については、「健康経営大賞 2022 in 沖縄」と題し、単体会部門及び企業部門に分けファイナリスト選定者による事例発表が行われ、厳正な審査の上、最優秀賞等を選定した。

3. 税の広報事業

税の取り巻く環境変化に対応すべく「国税・地方税の電子申告納税制度の普及」や「消費税の期限内納付」をはじめ、税務知識の普及と納税意識の高揚を目的にマスメディア及び「広報看板」を通して広く一般市民に啓発活動を行った。

- ◇「税の期限内納付」など納税意識の高揚、税知識の普及に寄与するための資料配布及び広報
- ◇「税を考える週間」等新聞による広報
- ◇納税者の利便性と申告事務の合理化を図るため、e-Tax 及び eLTAX、ダイレクト納付の普及推進
- ◇「2022 よさこい鳴子踊り特別演舞」協賛看板の設置
- ◇会報「ほうじん土佐」の発行（6,100 部）
- ◇単体会広報誌発行助成
- ◇新年年賀広告

II. 地域の経済社会整備改善を図るための事業<継続 2 >

1. 経営支援事業

一般企業及び市民、会員に対する経理、法律、経営に関する研修会の開催支援を行った。

◇講演会の開催

《青年部会連絡協議会・女性部会連絡協議会 会員交流会議記念講演会》

開催日：令和 4 年 4 月 25 日 場 所：三翠園

テーマ：逆境に負けない中小企業の在り方～with コロナ after コロナの時代に向けて～

講 師：株式会社 minitts 代表取締役 中村 朱美 氏

《令和 4 年度研修実施状況》

区分	税法税務 ※インターネットセミナー含		経営・経済・金融		その他 ※インターネットセミナー含		実施回数 小 計	参加人員 小 計	研 修 参加率	税法税務 研 修 参加率
	実施回数	参加人員	実施回数	参加人員	実施回数	参加人員				
高知	44	2,263	15	647	5	1,329	64	4,239	139.0%	74.2%
伊野	4	279	17	131	2	294	23	704	158.9%	63.0%
幡多	12	419	5	43	1	193	18	655	125.2%	80.1%
須崎	19	522	4	76	2	235	25	833	147.4%	92.4%
南国	10	393	1	68	4	229	15	690	129.5%	73.7%
安芸	9	300	4	31	1	267	14	598	220.7%	110.7%
県連	4	69	0	0	0	0	4	69		

合計	102	4,245	46	996	15	2,547	163	7,719	143.3%	78.8%
----	-----	-------	----	-----	----	-------	-----	-------	--------	-------

《研修参加率推移》

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	研修参加率	税務税法 研修参加率	研修参加率	税務税法 研修参加率	研修参加率	税務税法 研修参加率
高知	55.8%	23.3%	75.7%	38.5%	139.0%	74.2%
伊野	122.4%	70.3%	118.9%	56.2%	158.0%	63.0%
幡多	94.9%	44.2%	113.1%	67.4%	125.2%	80.1%
須崎	88.5%	40.8%	98.4%	46.9%	147.4%	92.4%
南国	82.6%	48.2%	93.8%	58.0%	129.5%	73.7%
安芸	60.4%	26.9%	151.3%	78.8%	220.7%	110.7%
合計	87.3%	30.5%	91.7%	48.8%	144.1%	78.3%

◇法人会インターネットセミナー

各单位会のホームページ上で配信されるセミナーで、その内容は、総務・経営・労務・健康等の多岐にわたり、経営者が知っておくべき多彩なセミナーと講師陣を揃え、社員教育にもご活用いただいている。

《インターネットセミナーログイン状況》

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
ログイン数	2,275	751	575	715	715	651	5,682

2. 社会貢献事業

各单位会、関係諸団体とも連携をとり社会貢献活動の推進を支援した。

◇法人会クリーンデー

Ⅲ. 単位会の行う公益目的事業を実施するための助成事業の円滑な運営支援<継続3>

単位会が行う助成事業に関し、当該事業の運営が円滑に行われるよう申請・報告の取りまとめ、研修・指導等を行った。

Ⅳ. 貸倒保証制度の普及推進（案内・周知）<他1>

貸倒保証制度の推進【三井住友海上火災保険(株)】 令和4年度利用法人数 1社（高知）

Ⅴ. 会員組織の充実を図ること、会員支援のための親睦交流などに関する事業<他2>

1. 組織の拡充強化・充実

組織の維持拡大は法人会活動の基盤をなすものであり、コロナ禍の中とはいえ、可能な範囲内で加入勧奨活動を行った。

今年度も、各金融機関本部及び支店の多大なるご協力のもと、9月から12月を強化月間と定め、全法連の会員増強施策に加え、当会でも福利厚生制度協力会社推進員と金融機関の紹介

による新規獲得1件につき2,000円分の商品券を配布する施策を打った。

令和5年3月31日現在の各単位会の会員数は次表のとおり。

《令和5年3月31日現在 会員数》

		高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
所管法人数		6,616	846	1,086	1,023	1,257	604	11,432
法人会員数		3,050	443	525	560	537	270	5,385
内 訳	正会員	2,731	402	511	548	522	265	4,979
	正会員以外の法人	319	41	14	12	15	5	406
加入率		46.1%	52.4%	48.3%	54.7%	42.7%	44.7%	47.1%
個人会員数		163	14	14	9	9	6	215

《全法連会員増強表彰（令和3年度の実績による表彰）》

- ・その年度において顕著な成果を挙げた単位会に対する表彰（対前年 1社以上）
努力賞 安芸法人会（1社）

2. 部会及び連絡協議会の活動

◇調査課所管法人部会

調査課所管法人部会においては、高松国税局の指導をいただき税務研修会を開催した。

《調査課所管法人部会税務研修会》

開催日：令和5年3月1日 場所：ラ・ヴィータ

①テーマ：「グループ通算制度の概要について」

講師：高松国税局 調査管理課 主査 水野 正彦 氏

②テーマ：「申告書の自主点検と税務上の自主監査について」

講師：高松国税局 調査第二部門 調査官 有村 咲枝 氏

③テーマ：「令和5年度税制改正大綱の概要について」

講師：高松国税局 調査管理課 主査 水野 正彦 氏

◇連絡協議会

青年部会連絡協議会・女性部会連絡協議会においては、独自の企画に基づき、社会貢献活動、関係友好団体との交流など活発に展開し重要な役割を果たした。

《令和5年3月31日 青年・女性部会 部会員数》

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
青年部会	175名	41名	99名	73名	39名	44名	471名
女性部会	75名	31名	43名	81名	18名	17名	265名

3. 福利厚生制度推進事業

福利厚生制度を取り巻く環境は、経済状況の悪化、さらには会員企業の保険のニーズの多様

化等により厳しい状況ではあるが、厚生制度の普及は会員の福利増進とともに法人会の財政基盤の安定に大きなメリットをもたらすものであり、厚生委員会と福利厚生制度推進協力会社と連携を密にして推進を図った。

◇福利厚生制度推進会議の開催

単位会の福利厚生事業の展開に際し、福利厚生制度推進協力会社3社と連携をとり、推進を図るため目標達成に向けての会議を開催した。

◇全法連福利厚生制度推進表彰（令和3年度の実績による表彰）

（1）県連受表彰

- ・顕著な成果を挙げた県連に対する表彰（累積収入保険料 対前年 101%以上）A I G 損害保険(株)取扱分
- ・高成績を長期間維持している県連に対する表彰（累積収入保険料 対前年 100%以上を3年間継続して維持）
- ・大型総合保障制度の役員加入率が高い県連に対する表彰（加入率 70%以上）

（2）単位会受表彰

- ・顕著な成果を挙げた単位会に対する表彰（累積収入保険料 対前年 103%以上）安芸法人会（105.4%）、高知法人会（104.1%）

◇福利厚生制度推進状況

《経営者大型保障制度【大同生命保険(株)】》 (令和5年3月31日)

単位会	会員数	加入企業数	加入率	役員		
				企業数	加入企業数	加入率
高知	3,050	671	22.0%	50	41	82.0%
伊野	443	102	23.0%	38	31	81.6%
幡多	525	148	28.2%	38	32	84.2%
須崎	560	127	22.7%	36	30	83.3%
南国	537	162	30.2%	36	31	86.1%
安芸	270	69	25.6%	25	22	88.0%
合計	5,385	1,279	23.8%	223	187	83.9%

※役員加入率については、加入不可能企業による修正後の加入率となります。

《ビジネスガード【A I G 損害保険(株)】》 (令和5年3月31日)

単位会	会員数	加入企業数	加入率	新規企業		
				目標	実績	達成率
高知	3,050	665	21.8%	67	44	65.7%
伊野	443	81	18.3%	4	6	150.0%
幡多	525	82	15.6%	9	8	88.9%
須崎	560	73	13.0%	5	5	100.0%
南国	537	101	18.8%	8	13	162.5%

安芸	270	71	26.3%	3	7	233.3%
合計	5,385	1,073	19.9%	96	83	86.4%

《がん・医療・その他保険制度【アフラック生命保険(株)】》 (令和4年12月31日)

単位会	会員数	目標年間換算 保険料(千円)	実績年間換算 保険料(千円)	達成率	加入 企業数	加入率
高知	3,049	16,831千円	9,453千円	56.2%	615	20.2%
伊野	443	2,919千円	2,198千円	75.3%	91	20.5%
幡多	523	2,675千円	617千円	23.1%	86	16.4%
須崎	565	6,290千円	1,399千円	22.2%	119	21.1%
南国	533	4,011千円	1,472千円	36.7%	124	23.3%
安芸	271	2,958千円	2,959千円	100.0%	57	21.0%
合計	5,384	35,684千円	18,098千円	50.7%	1,092	20.3%

※会員数は令和4年12月31日時点

◇医療機関と提携による人間ドックの斡旋 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
利用件数	47	14	15	14	20	4	114

◇「第3回チャリティゴルフフェスタ」の開催

本事業は、令和2年度から開催している厚生委員会主催のチャリティゴルフ大会で、参加者同士の親睦を深め、収益金を社会貢献活動に役立てる目的で企画した。令和4年10月4日に高知ゴルフ倶楽部にて開催し、参加者は165名。収益金20万円は、令和5年10月17日に「高知新聞厚生文化事業団」に寄付した。

VI. 出会い・結婚・子育て応援窓口運營業務等委託事業の受託<他4>

結婚は個人の自由であることを大前提に、支援を望む方の希望をより早くかなえることができるよう、「こうち出会いサポートセンター」(以下「センター」という。)において、出会いや結婚への支援を希望する独身者に対する「出会いの機会の創出」を行った。

併せて、妊娠、出産や子育てに関する相談にワンストップで情報提供を行う「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」(以下「応援コーナー」という。)を設置、ライフステージの各段階に応じた切れ目のない支援を行った。

また、官民協働で「働きながら子育てしやすい職場環境づくり」の取組みを推進する為、県内企業・団体等に「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」(以下「応援団」という。)への登録促進等の働きかけを行った。

なお、事業実施にあたりセンター長1名、職員2名、パート6名を雇用している。

1. 出会い・結婚・子育て応援窓口運營業務

(1) 出会いイベントに関する業務

ア. 応援団の登録拡大・支援の充実

	令和4年度	令和3年度

イベント数	52 回	36 回
イベント参加者数	974 人	510 人
カップル数	106 組	71 組
成婚数	3 組	9 組

イ. 応援団へイベントアドバイザー、イベントファシリテーターの派遣
 応援団にイベントの企画支援等を行う専門家を派遣した。

- ・アドバイザー・ファシリテーター派遣 19 回
- ・イベントアドバイザー・ファシリテーター連絡会 1 回

ウ. 応援団研修の開催

開催日：令和 4 年 8 月 18 日 場 所：ちより街テラス
 参加者：22 名（オンライン参加 7 名）

エ. 「高知で恋しよ！！応援サイト」のメルマガ会員を募集、登録とメルマガ配信

- ・メルマガ会員数 5,100 名
- ・メルマガ配信 223 回

オ. イベント終了後のお引合せ・交際フォロー

- ・活動実績 46 回 12 名

カ. 異業種交流会の開催

開催日：令和 4 年 11 月 12 日 場 所：高知県立県民体育館&高知大丸
 参加者：34 名（男性 19 名 女性 15 名）
 主催者：高知県少子化対策推進県民会議若い世代部会（ゆるスポーツ&BBQコン）

(2) マッチングシステム（会員同士による 1 対 1 のお引合せ）に関する業務

	令和 4 年度	令和 3 年度
お引合せ成立数	330 組	363 組
(内オンライン※1)	(23 組)	(23 組)
カップル数	151 組	176 組
(内オンライン)	(2 組)	(8 組)
成婚数※2	22 組	14 組

※1 オンラインお引合せ 令和 3 年度より導入

※2 センター開設時からの成婚数は 101 組

ア. マッチング会員募集等

- ・巡回広報活動 75 回 312 カ所
- ・出張登録推進活動 5 回 50 カ所
- ・香南ケーブルテレビ、よさこいケーブルテレビのPR放送 4 回、高知新聞で自宅閲覧

及び申込機能掲載2回、合計6回、スペシャル登録会と割引キャンペーンのPR放送10回、高知新聞、ほっとこうち、とさでん交通（割引キャンペーンオンライン登録）なごみカフェ（センターについて）

イ. 会員の登録

	会員数	性別	
		男性	女性
令和5年3月31日現在	743	464	279
令和4年3月31日現在	785	458	327

※オンライン登録 令和4年10月より導入

ウ. 会員登録・閲覧の窓口設置

- ・高知センター、安芸センター、四万十センター、県下出張先にて設置
- ・ヘアメイク、写真撮影付登録会 10回

エ. 閲覧・申込み体制の整備

	閲覧数	性別	
		男性	女性
令和5年3月31日現在	1,496	1,264	234
令和4年3月31日現在	1,931	1,554	377

オ. 個別のお引合せ・交際フォロー

- ・活動実績 329回

カ. 出張登録閲覧会及びヘアメイク・写真撮影月スペシャル登録会の実施

- ・企業及び県下市町村における出張登録閲覧会 32回（登録者数66名、閲覧者数11名）

キ. 会員限定イベントの実施

- ・会員限定イベント 12回（参加者数131名）

(3) 「高知で恋しよ！！応援サイト」の運営管理

ア. 「高知で恋しよ！！イベント」システム等の運営管理

サイトやメールマガジンにおいて出会いイベント情報を発信し、イベントの登録及びイベント参加者の受付などシステム上でイベントの管理運営等を行う。

イ. 「高知で恋しよ！！マッチング」システム等の運営管理

マッチングの会員情報をシステム上で管理し、データベース化して、閲覧窓口において専用端末機を用いて会員情報の閲覧を行う。

ウ. 応援団等の運営管理

応援団や独身者を支援するボランティアの情報を管理し、システム上で情報交換を図る。

エ. その他ブログ等 SNS を活用し、事業に必要な情報発信を行う。

(4) 「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」の運営等

センター内に応援コーナーを設置し、独身者等からの電話やメール、来所等による相談対応や情報提供などを行った。また、必要に応じて、高知県庁児童家庭課内の子育て相談担当とも連携し、情報交換を行った。

ア. 応援コーナーの運営

・相談件数

出会い・結婚 365 件、 妊娠・出産 0 件、 子育て 0 件、 就労 0 件

イ. センター見学会の実施

・県の結婚支援事業の概要説明を行うセンター見学会 10 回

(5) 独身者を支援するボランティア（マッチングサポーター）の養成や活動支援

ア. マッチングサポーターの養成及び活動支援

・養成研修 8 回 18 名

・活動支援（スキルアップ研修 2 回 50 名）

・相談件数 112 件

[内訳：活動相談 91 件、操作方法 6 件、資料請求 0 件、成婚報告 9 件、その他 6 件]

・マッチングサポーター登録者数 91 名（男性 32 名 女性 59 名）

(6) 「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」の登録拡大・支援の充実

ア. イベントを主催する応援団を募集し、多くの出会いの機会を提供できるようイベント開催を支援した。[応援団支援 6 回、 応援団研修 1 回 22 名（内オンライン 7 名）]

イ. お引合せの会場等の提供を行う応援団を募集し、独身者へのサービスの提供や支援を行った。[お引合せ会場提供団体 61 団体]

(7) その他、業務を遂行するために必要なこと

ア. 結婚相談アドバイザー等の配置

相談会付スペシャル登録会 6 回

イ. センター及び応援コーナー等スタッフの育成・指導 [5 回]

12 月 20 日	職場における個人情報の保護について	8 名
1 月 30 日	SNS を利用した広報活動について	9 名
2 月 20 日	サポート力 UP のためのコミュニケーション講座	9 名
2 月 24 日	導入システム支援内容等	3 名

2. 企業等の子育て支援への参画促進業務

(1) 応援団への登録促進及び宣言賛同企業数の増加に向けた勧誘を行いました。

ア. 応援団への登録促進

登録団体	1,244
令和4年度登録団体	99
延べ訪問団対数	853
実訪問団対数	483

イ. 宣言賛同企業数の増加に向けた勧誘

・宣言賛同企業数 966 団体

VII. 総務関係及び事務局体制の整備

1. 事務運営体制の確立

全法連からの事務局強化支援助成金を活用し、県連で税理士と契約し、各単位会の法人会運営業務をサポートするために会計処理に関する確認を行った。また、依頼のあった単位会には県連の職員を派遣し、総会のサポート等を行った。

適格請求書発行事業者の登録をしました。

「実費弁償による事務処理の受託等」について、税務署に確認申請をおこない、出会い・結婚・子育て応援窓口運営業務は、下記事業年度においては、当該事業に係る法人税の申告は要しないこととなった。

対象事業年度 令和4年4月1日から令和9年3月31日の間の事業年度

2. 各種会議の開催

定時総会をはじめ、円滑な運営を図るための各種会議を開催した。